

今年も猛暑の夏となりました。健康管理の難しい状況が続いておりましたが、皆様お元気でお過ごしですか。

白門経友会は、6月8日に第34回総会を開催いたしました。今回は、総会に先だって、経済学部棟のそばの炎の塔内に4月に開設されました、法と正義の資料館および大学史資料館の見学会を開催しました^(*)。法と正義の資料館では、法と正義、人権をめぐる歴史を学べます。本年度は企画展示室で、イタイタイ病の被害者の救済をもとめて法廷で闘った松波淳一弁護士の資料が展示されています。大学史資料館では「創立以来の本学の歩み」を物語る資料が展示されており、特に駿河台校舎の講義室の一部が再現されているのが目を引きます。

※資料館：<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/museum/>



第34回総会が開催されました

今年も猛暑の夏となりました。健康管理の難しい状況が続いておりましたが、皆様お元気でお過ごしですか。

総会

総会は佐藤拓也経済学部長の挨拶から始まりました。経済学部の近況として、学部教員と附属高校教員と

が一緒になって作った教科書『高校生からの経済入門』のこと、ゼミ活動を中心とした経済学部の伝統を引き継いで、新しい経済学部の姿を検討中であることを話されました。

二〇一三年度の活動報告、二〇一四年度の活動計画、役員人事が提案され、一部修正のうえ承認されました。



ついて、日本の社会政策学会の発足（一八九六年）から話をはじめ、社会政策の理論的展開を説明されました。要所要所で現代日本の労働政策の話題を挟み、最後まで聴衆を飽きさせませんでした。

考える上でオールド自由主義が興味深い。社会政策は労働者のためだと考えられているが、それが良いか悪いかを判断するのは労働者である。グローバル化した現在では、企業は自社のことだけを考えていればよいわけではなく、サプライチェーンの中で人権問題が生じていないか配慮することが求められている。

大学に入学した頃は「資本主義に未来はあるか」と議論されていたが、新自由主義にもいろいろある。

日本で社会政策の経済理論を最初に論じた大河内一男は、社会政策を、社会保障としてではなく、資本主義が安定的に持続するために労働力を保全する必要性から考えることが必要であるとした。

第2次大戦後、市場経済に対する基本的な政策では、GHQが財閥解体、農地改革、労働改革とともに、公正な市場取引と独占・寡占に対し規制を強めることが指示したことが重要である。それが「私的独占」が目を引きます。

その後、暫時の休憩ののち、松丸和夫経済学部教授による公開記念講演会を開催いたしました。

社会政策の経済理論の考え方について、それが逆再分配にならないようにするためにはどうすればよいかを今考えている。

以上の講演会の後、ヒルトップ4階の四季にて懇親会を行い、松丸先生を囲んで楽しい歓談のときを過ごしました。

禁止及び公正取引の確保に関する法律（独禁法）であり、第一条にある「公正」と「自由」の関係をどう考えるかが重要である。そもそも「公正」とはどのような状態であるかは法律では明示されていない。社会的公正を考へる上でオールド自由主義が興味深い。社会政策は労働者のためだと考えられているが、それが良いか悪いかを判断するのは労働者である。

グローバル化した現在では、企業は自社のことだけを考えていればよいわけではなく、サプライチェーンの中で人権問題が生じていないか配慮することが求められている。

大学に入学した頃は「資本主義に未来はあるか」と議論されていたが、新自由主義にもいろいろある。

日本で社会政策の経済理論を最初に論じた大河内一男は、社会政策を、社会保障としてではなく、資本主義が安定的に持続するために労働力を保全する必要性から考えることが必要であるとした。

第2次大戦後、市場経済に対する基本的な政策では、GHQが財閥解体、農地改革、労働改革とともに、公正な市場取引と独占・寡占に対し規制を強めることが指示したことが重要である。それが「私的独占」が目を引きます。

その後、暫時の休憩ののち、松丸和夫経済学部教授による公開記念講演会を開催いたしました。

社会政策の経済理論の考え方について、それが逆再分配にならないようにするためにどうすればよいかを今考えている。

以上の講演会の後、ヒルトップ4階の四季にて懇親会を行い、松丸先生を囲んで楽しい歓談のときを過ごしました。

第 34 回 定期総会資料

第 1 号議案 2023 年度活動報告

I 会議

1. 2023(令和 5) 年度定期総会

日時 2023 年 6 月 10 日(土) 14 時

場所 7 号館 1 階 7103 教室

- ▶ 第 1 号議案 2022 年度活動報告及び決算報告
- ▶ 第 2 号議案 2023 年度活動計画及び予算案
- ▶ 第 3 号議案 役員選任および役付き幹事の承認
- ▶ 第 4 号議案 その他

以上、原案通り承認されました。

引き続き、井村進哉教授より「27 年間の授業・ゼミを振り返って」という演題で講演していました。その後、会場をヒルトップ 2 階(西側)に移して、懇親会を開催いたしました。

2. 常任幹事会

2023 年 6 月 2 日(金)～8 日(木)(持ち回り開催)

2024 年 1 月 26 日

II 行事

経和会懇親会に参加

2023 年 3 月 1 日に、経済学部教員の親睦会である「経和会」の懇親会(退職される先生方の送別会)に招待され、常任幹事も参加いたしました。その際、吉永匡宏さんに本会を代表して挨拶していました。

III 会報

- ▶ 第 84 号 8 月 31 日／第 32 回定期総会報告／第 32 回定期総会資料／え、あの先生が(章沙娟助教)
- ▶ 第 85 号 1 月 10 日／多摩キャンパスの今／学生によるキャンパス・レポート(白井嵩海、増井佳秀)／佐藤拓也経済学部長が再任／『やっぱり経済学はおもしろい!』の刊行／会報の記事の募集／え、あの先生が(中村彰宏教授)
- ▶ 第 36 号 3 月 31 日／〔特集〕経済学部における正課のインターンシップ(佐藤拓也学部長／平松裕子特任教授／八森舞)／第 34 回白門経友会総会のお知らせ／え、あの先生が(田中光教授)

第 2 号議案 2024 年度活動計画

I 会議

1. 2024(令和 6) 年度定期総会

日時 2024 年 6 月 8 日(土) 14 時

場所 7 号館 1 階 7104 教室

議題

- (1) 2023 年度活動報告・決算報告
- (2) 2024 年度活動計画・予算案
- (3) 役員選任および役付き幹事の承認
- (4) その他

総会終了後、公開記念講演を実施する。

時間 14 時～

演題 「社会政策の経済理論」

講師 松丸和夫教授

懇親会

時間 16 時 30 分～18 時 30 分

会場 ヒルトップ 4 階「四季」

2. 幹事会

年 3 回程度、原則対面で開催する。

II 行事

- 1 学部授業・ゼミへの協力。学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。
- 2 学部行事への協力。
- 3 会報などを通じて、「経済学部創立百周年記念奨学金」募金を支援する。
- 4 経済学部創設百周年記念奨学金基金に本会の余剰金の中から寄付する。
- 5 白門経友会会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める行事を行う。
- 6 新しく開館した大学資料館、法と正義の資料館の見学会を開催する。

III 会報発行

会報「白門経友会」を年 3 回発行する。会報はホームページに掲載し、紙ベースでの発行を少なくとも年一回行い会員に配布する。

IV その他

- 1 学部の活動状況を会報を通して積極的に広報する。
- 2 多数が参加可能な講演等の開催。あるいはオンラインで可能な講演を行う。
- 3 白門経友会ホームページの内容の充実化のために、学生および外部有識者からの投稿を勧める。
- 4 「人格なき社団等」として口座を維持に当たって団体要件の確認が求められることを鑑み、会則の見直しに着手する。
- 5 以上の活動を通して入会呼びかけの強化。

第3号議案 役員選任および役付き幹事の承認

顧問：齋藤巖、松丸和夫

会長：佐藤拓也（中央大学経済学部長）

幹事長：濱岡剛

副幹事長：佐藤文博、鳥居鉄太郎

常任幹事：安藤磐、風間俊範、鈴木秀男、高梨明宏、田中右一、局芳暁、吉永匡宏、米田貢（あいうえお順）

監事：石橋敦史（経済学部事務長）、森元公和

2023年度 決算報告書

自2023年4月1日 至2024年3月31日 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-----------|---------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 前年度繰越金 | 1,312,488 | 総会・懇親会費 | 54,300 |
| 会費収入 | 209,826 | 会報発行費 | 61,875 |
| 懇親会費収入 | 51,500 | HP維持費 | 26,400 |
| 寄付金収入（学員会） | 30,000 | 交流費 | 6000 |
| 受取利息 | 10 | 振込手数料 | 715 |
| | | 通信費 | 23,520 |
| | | 雑費 | 0 |
| | | 小計 | 172,810 |
| | | 次年度繰越金 | 1,431,014 |
| 合計 | 1,603,824 | 合計 | 1,603,824 |

次年度繰越金内訳

| | | |
|-------------|------|-----------|
| 三井住友銀行八王子支店 | 普通預金 | 310,296 |
| ゆうちょ銀行 | 通常貯金 | 843,837 |
| 現金 | | 276,881 |
| 合計 | | 1,431,014 |

2024年度 予算報告書

自2023年4月1日 至2024年3月31日 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-----------|--------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 前年度繰越金 | 1,431,014 | 懇親会費 | 60,000 |
| 会費収入 | 200,000 | 会報発行費 | 120,000 |
| 懇親会会費収入 | 55,000 | HP維持費 | 40,000 |
| 寄付金収入（学員会） | 100,000 | 交流費 | 130,000 |
| 受取利息 | 8 | 振込手数料 | 1,000 |
| | | 通信費 | 30,000 |
| | | 雑費 | 20,000 |
| | | 小計 | 401,000 |
| | | 次年度繰越金 | 1,385,022 |
| 合計 | 1,786,022 | 合計 | 1,786,022 |

二つの資料館見学と

三〇年振りの総会に参加して

昭和四十四年卒 吉永匡宏

六月六日多摩キャンパスで開催された総会に出席した。総会に先立ち、新設された二つの資料館（法と正義、大学史）の見学が企画され参加することにした。各資料館とも常設展と企画展の二構成になつており、私は特に「法と正義の資料館」の特別展を相手に、全面勝訴を勝ち取つたことは被害者のみならず、多くの国民から「正義の証」として絶賛されました。松波弁護士は苦学して中大を卒業、司法試験に合格、どんな困難に負けない不撓不屈精神は母校の誇りと伝統に大いに寄与しました。偉大な先輩に続くよう後輩も頑張らねばならないと思います。イタイタイ病は神通川上流の上岡鉱山から流れ出るカドミウムが原因でした。

私の母は富山県射水市の出身で生家は今も稲作を継続しております。立山連峰を望む風光明媚で、立山を水源とする豊富で美味しい水、米と純米酒は特筆すべきものがあります。富山県は富山市の中心を流れる神通川と、高岡市と射水市の中心部を流れる庄川の二大河川があり母の生家は庄川沿いにあります。富山県人にとって「水」の美しさは誇りと言えますので、公害病発生のショックは計り知れないものがあつたと思います。医療訴訟は今後コロナワクチン後遺症問題もあり、注目されるところです。この資料館は奥野善彦弁護士の寄付によるものがまだそうです。学内外に資料館をPRし、中大の存在感を認識してもらう絶好の機会だと思います。

資料館見学後、発足総会から三〇年振となる今年度の総会に参加しました。確かに経済学部結束、「法学部何するものぞ」の気概で設立された白門経友会 発起人も実力ある大学常任理事、政財界の名士がつらなりと伝統に残っています。今回は静寂と印象に残っています。今回は静寂とした会場、あまりの様変わりに、どのような変遷を辿ったのか理解したいと思いました。

しかしながら、多忙にもかかわらず立山連峰を望む風光明媚で、立山を水源とする豊富で美味しい水、米と純米酒は特筆すべきものがあります。富山県は富山市の中心を流れる神通川と、高岡市と射水市の中心部を流れる庄川の二大河川があり母の生家は庄川沿いにあります。富山県人にとって「水」の美しさは誇りと言えますので、公害病発生のショックは計り知れないものがあつたと思います。医療訴訟は今後コロナワクチン後遺症問題もあり、注目されるところです。この資料館は奥野善彦弁護士の寄付によるものがまだそうです。学内外に資料館をPRし、中大の存在感を認識してもらう絶好の機会だと思います。

資料館見学後、発足総会から三〇年振となる今年度の総会に参加しました。確かに経済学部結束、「法学部何するものぞ」の気概で設立された白門経友会 発起人も実力ある大学常任理事、政財界の名士がつらなりと伝統に残っています。今回は静寂とした会場、あまりの様変わりに、どのような変遷を辿ったのか理解したいと思いました。



(大学史資料館にて 中央が筆者)

すご出席の白門経友会会長で経済学部長佐藤拓也先生の開会のご挨拶、所定の総会議事を経て、松丸和夫教授の特別講演、その後の懇親会と有意義に過ごしました。

松丸先生は社会政策のご専門であり、私の入学した昭和四〇年当時の学部長矢島悦太郎も社会政策で父と大学同期でした。父は私の入学試験の直前に急逝、経済的には厳しくなりましたが、中大経済学部には父と交流のあつた多くの先生方が在籍されていましたが、中大経済学部には父と支えとなりました。母校経済学部に心より感謝しています。

白門経友会を主に支えてくださっている、濱岡剛先生、鳥居鉄太郎先生、佐藤文博先生に御礼申し上げます。

（幹事長 濱岡 剛）

引き続き、「経済学部創立百周年記念奨学金」へのご寄付を募っています

詳細は中大WEBサイトにて。経済学部トップから赤色のバナーをクリック。スマホはQRコードから。



編集後記

本号は六月八日の総会の様子をお伝えします。ご参加いただいた方々、講演をお受けいたいた松丸先生、レポートをお願いした吉永さん、ありがとうございます。ご参加いただいた方々、会では、通例の公開記念講演会に加えて、資料館見学会を企画しました。館内を案内していただいた資料館スタッフの方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

2024年8月31日 第87号
発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1
中央大学経済学部内
URL: www.wg-keiyukai.com
Fax: 042-673-3425